

北見工業大学

短期交流研修報告書

Kitami Institute of Technology
Study Tour Report

韓国・慶尚大学校工科大学

2013年9月10日~17日



慶尚大学校工科大学との短期交流研修

国際交流センター長 許斐 ナタリー

2013年9月10日～9月17日にかけて、慶尚大学校工科大学との第11回韓国短期交流研修が実施された。本研修は慶尚大学校工科大学と本学が1年おきに互いを訪問し、両校の友好、協力、親善を図るものとして設立され、毎年10名の学生が研修に参加する。

本学と慶尚大学校とは1996年7月に国際交流協定を締結した。本学へは特別聴講生（短期留学）として学生も派遣していただき、更には教職員同士の交流も活発に行っており、数ある協定校の中でも非常に密接な関係を築いている大学である。

また、このような研修プログラムは、北見工業大学における国際交流の柱として、国際的視野を踏まえた教育研究、学生・教職員の国際化の推進を目指す本学のミッションに大きく寄与することは間違いない。

本プログラムは、教室での事前準備オリエンテーションと海外での異文化研修・文化学習・文化体験・学生交流・学外研修・語学研修を通じて、学生の将来に必要な国際性を身につけさせようというものでもある。

プログラムの内容を簡単に振り返ってみよう。

- ① 事前準備オリエンテーションで、「オリエンテーション」「簡単な韓国語」の1か月間の短期交流準備講義を受ける。
- ② 現地での研修内容を通して、「コミュニケーション能力」、「異文化理解」と合わせて、国際人としての第一歩を踏み出す。
- ③ 帰国後、帰国報告会発表、報告書などにより短期交流研修経験を振り返り、自己成長をリフレクションする。また、今後のプログラムに参加する学生へのPR活動、情報交換など様々な形で本プログラムの継続性に貢献する。

慶尚大学校キャンパスは、釜山からバスで1時間半ほどのところ、北見市の姉妹都市でもある韓国の南地域の慶尚南道晋州市に位置し、日本との難しい歴史ももちながら、特に「晋州城」と「ノンゲ義岩」、そして街の中心に流れている大きい「南江（ナムガン）川」が印象的だった。今回は、9月の上旬に訪れたということもあり、過ごしやすい気温、湿度だった。

また、慶尚大学校工科大学が準備してくださった毎日のプログラムの内容が非常に濃く、学生達も毎日を充実して過ごすことができた。研修には、慶尚大学校の学生も行動を共にしてくれたこともあり、学生同士の友情が育まれたように思う。プログラムでは、慶尚大学校の紹介や大学所在地についてのセミナーがあって、韓国語入門講座も開催され、文化講座には韓国の伝統的な茶道が行われ、学生達が大学の違いや両国の文化について理解を深めることができた。

今回の研修に引率し、一番印象に残ったことは、よく日本で「若者の内向き姿勢」と聞くにも関わらず、本学の参加学生の逆に外向き姿勢、コミュニケーション能力、活発性、社交的などところだった。本学生はこの研修を終え、慶尚大学校の教職員と学生との交流に

より、相互理解を深めることができたと信じている。

最後に、本研修がこのように充実したものになったのも、全ては慶尚大学校工科大学の Kim Yeong 学長、Koh Jinhwan 副学長をはじめとし、多くの教職員の方々と通訳だけではなく、毎日研修に付き添ってくださった慶尚大学校の 3 人の学生の厚いもてなしと受入れがあったからこそだと思う。皆様に心からの御礼を申し上げたい。

来年、慶尚大学校工科大学の学生をお待ちしております。

韓国短期交流研修の感想

マテリアル工学科 4年 小西 啓太

韓国は私にとって初めての海外でした。短期間でしたが、韓国で生活できて嬉しかったです。ありがとうございました。

韓国の女性はスタイルが良い人が多く感激しました。キムチなど辛い物を食べているせいなのか本当に多かったです。お世話になった大学は総合大学でした。広大な敷地で、いかにもキャンパスという感じがして、高校、大学とほぼ男子校で育った私にとっては刺激的な大学でした。男性もスラッとして背が高い人が多く羨ましく思いました。

プサンでの自由時間では国際市場をグルーッと回りました。いろいろなものが所狭しと並び、値段も安く、雰囲気も満喫出来ました。ある店ではタコの踊り食いが出来ると聞いていたのですが、その店を見つけられずそれだけが残念でした。私は、日本だと結構高い偏光サングラスを釣り用に 1500 円で買いました。しかもケース付きです。安くて驚きました。しかも簡単に値切る事ができます。今度来たら韓国語をもう少し話せるようになり、もっと値切りたいです。

夜にはプサンのビーチの夜景がきれいすぎて驚きました。ビルの明かりと遠くに見える橋の明かりが夜空に映えて素晴らしかったです。都会のすぐ近くのビーチって良いなあと思っています。その場所でアカペラを歌いました。ストリートの歌うたいのような感じでとても気持ちが良かったです。その 3 日後の仙台のライブで、出だしの音を外さなければもっと気持ちよかったです。。笑

韓国本当に楽しかったです。ナタリー先生、白鳥先生、お世話になりました。ありがとうございました。

韓国短期交流研修

バイオ環境化学科4年 諸橋 一浩

まず、今回の研修で私達を引率して下さった国際交流センターの白鳥さん、そしてナタリー先生にお礼申し上げます。

私がこの研修で驚いたのは3日目に慶尚大学校内を散策している時の出来事です。各サークルが新生を勧誘しているエリアを通りかかると「日本人ですか？こんにちは！」と多くの学生が話し掛けてくれました。私達が韓国語を喋れないと分ると「Can you speak English?」と流暢な英語でなんとかコミュニケーションを図ろうとしてくれました。しかし私達は英語もあまり上手に使えず、最終的には相手の学生が頑張って日本語を使うことでようやく意思の疎通を図ることができました。

韓国の学生の英語や日本語のスキルよりも私が驚いたのは、日本人に興味を示し友好的に話し掛けてくれる学生が沢山いたということです。最近テレビやネットでよく耳にする“反日”という雰囲気は全く感じず、韓国に滞在した一週間を通して一度もそれを感じることはありませんでした。

今回、慶尚大学から3人の学生が案内役として参加してくれていました。彼らをそれぞれ「ルイズ」「ジュンちゃん」「ピン」という愛称で呼び、今でも連絡をとる程仲良くなりました。講義においては彼らか通訳をしてくれ、自由時間は彼らが街を案内してくれ、夜は一緒に酒を飲み交わし、何から何までお世話してもらいました。今後韓国に行くことがあれば必ず彼らに会いたいと思っています。

韓国の街を歩くと日本となんとなく似ている風景だなと感じましたが、中身は少し違うものが多くて新鮮でした。例えば、喫煙所には土が入った壺が置いてあり、ビリヤード台はポケットが無く、カップラーメンは悶絶するほど辛く韓国人ですら食べられないものでした。農村地域は全く日本と同じ景色で、まるで岡山県にいるかのような気分になりました。

研修期間毎日楽しみだったものは食事です。一番最初に口にした食べ物はやはりキムチでした。想定していた辛さよりも先に酸味が強く驚きましたが、聞くところによると韓国人は酸味が好きらしく、酸味のある料理は非常に多かったです。ユッケビビンバ、韓国風海苔巻(キンパッ)、プルコギ、カルビタン、サムギョプサル、キムチチゲ、冷麺、トッポギ、チヂミ、サムゲタン、たこ踊り食い、などなど「マシッソヨ！」なものばかりでした。

この研修を通して、刺激的だったのが韓国語を使うことです。なんとと言うか語学を学ぶ楽しさを感じたと言うと大袈裟ですが、やはり少しでも話が通じたのが私にとって凄く気持ち良かったので、今後機会があれば海外に行き会話をチャレンジしていきたいと思えます。

韓国短期交流研修感想

バイオ環境化学科4年 吉田 由佳

私は今まで韓国語に触れる機会は一度もなく、初めての海外ということで、楽しみよりも不安が大きすぎて、想像もできませんでした。少しでも日本とは違う風景、文化、環境を見るとドキドキで、感動してばかりの研修になりました。

韓国に着きドキドキしながら外に出ましたが、みんな日本人と同じ顔で、あまり海外に来たという気持ちになれないまま空港から大学へ移動するためバスに乗り込みました。しかし、まず車線が日本と逆で不思議な感覚になりました。日本語が一文字もなく、読めないハングルだらけの街並みを眺め、ありえないくらい細長いマンションがたくさんあり、地震がきたら怖いなど思いながら、初めて日本じゃない！！と実感が湧いてきました。

韓国料理といえば一番に思い出すのはキムチ。むしろ韓国といえばキムチとっていました。予想通り、食事でキムチが出なかったことはない？というくらい毎食必ずキムチが出てきました。韓国=キムチというイメージは間違いではありませんでした。また、ビールと焼酎を割って飲むという日本では考えられない飲み方に驚きました。逆に、韓国といえばマッコリですが、日本では色々な味のマッコリがあると言ったら驚いていました。

講義でハングルの基礎を学びました。とにかく発音が難しいと感じました。区別できないくらい似たような音は講師の口の形や表情を見てとにかく一生懸命声に出してみました。単語が少し読めたり、発音が合っているとと言われるとどんどん楽しくなり、もっとハングルやってみよう！と思いました。そして言葉が通じることは素晴らしいことなんだなあと思いました。

韓国の建物、城、門は日本と違い派手な絵柄なものが多く見られました。少し沖縄の建物に似てると思いました。門も高い天井にも竜などの絵柄が描かれていて、普通に描いたとしたら絶対に首が痛くなるし、どうやって描いたんだろうと思いました。アウトレットに行った時、柱や屋根に新しく絵を描いている所を見ることができました。おじいちゃんが高い脚立に乗り、細かく色塗りをされていて、日本の職人もすごいけれど、韓国の職人もすごいと思いました。

約一週間の研修でしたが、毎日が充実していて本当にあつという間でした。みんなで汗だくになりながら登った山、大きい湖を船で渡ったこと、釜山の夜景、韓国の茶道、偉い人のお墓、初めて日本でない文化、自然に触れ、感動しっぱなしでした。そして誕生日を韓国で迎え、みんなが祝ってくれたことも本当にうれしかったです。そして常に韓国では日本と比べたり、日本だったらこうだよなあ韓国の良いところも発見でき、また日本についても改めて考えた研修になりました。韓国でできた友人3人は本当に優しく、仲よくしてくれました。初めての外国の友人、出会いを大切にしたいと思います。韓国の文化に触れ、日本の良さも再確認し、出会いに恵まれ、一生の思い出に残る研修でした。ナタリー先生、白鳥さん、一緒に行ったみんな、本当にありがとうございました。

韓国短期交流研修に行って

社会環境工学科 4年 島崎 将司

今回、韓国へ語学研修に行くにあたり自分にとって初めて海外に行く経験だったので、日本では感じられないような世界をたくさん感じて帰ってこようと思い、韓国語は一切できませんが期待を十二分をもって語学研修に参加しました。

実際、日本を出る時は期待一杯でしたが、いざ韓国に着くとそうともならず、目に入る文字は知らない文字、聞こえるのは聞きなれない言葉、感じる匂いや空気も全く違い、本当に違う場所に來たんだなという思いで満たされていました。ただ、通訳で参加して下さった慶尚大学の学生の日本語のレベルが相当高く唯一の救いだと心から思ったのを覚えています。

そんな不安から始まった韓国生活でしたが、始まってみればスケジュールは大体決まっています特に困るといったこともなくスムーズに一週間を送ることができました。これに関しては感謝半分、残念だと思ったのに半分といった感じで、確かに初めての土地でありがたいとは思いましたが、一週間もあるんだからもっと自由に行動して好きに見て回りたいというのが本音でした。それでも、できる限りこちらの要望を叶えてくれた大学の方には感謝しています。

大学では日本よりグローバル化を意識しているということがよくわかりました。英語での研究紹介だったので聞き取るのは難しかったですが、実験風景や実際に飛行シミュレーションを体験できたのは楽しかったです。また、学食にいくと色々な国の人がいて留学などといった制度も充実しているように見えました。あとグローバル化とは関係ありませんが、学食のメニューが2つしかなく、しかも日本食と韓国料理の二択だったことに驚きました。

韓国の食べ物に関しては、ほとんどのものが辛いというイメージだったのですが割と酸っぱいものも多く、毎日違う料理が出てきたので食事に関しては驚きのある毎日でした。とくにスープ系の食事は美味しいものも多く「また食べたい！」と思えるものが多々ありました。

今回の韓国への語学研修を終えて思ったことは、日本とこんなにも近い国なのに多くのことが違い、本当に日本と同じと思えることが少ないんだなと実感しました。交通のルールや衛生管理などが特に違うと思ったし、日本人は真面目で勤勉だと思われるようでしたが、韓国の人のほうが真面目で勤勉に感じられました。その証拠に TOEIC の平均点と聞いたところ日本とは比にならないくらい高かったのが驚きでした。日本には日本の韓国には韓国の良いところが多々有り、ここには書ききれないことが多々ありますが、今回の研修で韓国の良いところを吸収して帰ってこられたと思います。今回の語学研修に参加できて本当に良かったと思いました。ありがとうございました。

韓国短期交流研修

マテリアル工学科4年 鈴木 琢人

今回の韓国での交流を通じて、たくさんの思い出を作ることが出来、他にも日本との違いを肌で感じ、良い経験をする事が出来ました。

1番考えさせられたのは韓国人への印象です。

メディアなどで放送されている韓国しか今まで知らなかったのも、韓国人への印象はあまり良くないものでした。ですが、日本で会った韓国人はメディアで放送されている印象とは違い、とても優しく、とても良かったことをきっかけにこの韓国の交流に参加しました。

韓国ではお話をする方々がとても優しく、やはりメディアとは違った印象を受けました。私が知っている情報は一握りに過ぎないことなのだと気づくことが出来ました。この研修のおかげでより韓国に興味を持ちました。

次に驚いたのは、食についてです。

本当にどんな食事のときでも、キムチと青トウガラシが出てきました。日本ではありえないことなので、単純にびっくりしました。他にも韓国人はあんなに辛いものを食べているのだから辛いものは誰もが得意だと思っていました。ですが韓国人も辛い物が得意ではない人がいるということ知り、なぜか親近感をも感じました。

そして1番この研修を楽しませてくれたのは、韓国人のおもてなしの精神です。

何から何まで、全て準備していただき、教えていただき、この精神はすごくいいものだと思います。自ら実践してみようと感じるほど感激しました。私が韓国語もほとんど話すことが出来ないのにも関わらず、分かるまで伝えようと努力していただき、このような些細なこともとてもうれしく感じました。

色々な韓国のことに興味を持って、また実際に来て、見て、話して韓国を感じてみたいと思いました。

韓国短期交流研修感想

バイオ環境化学科3年 渡辺 江美子

今回、1週間という短い期間ではありましたが初めて海外に行ってきたたくさんの経験をすることができました。

前々から海外に行ってみたくてという気持ちはありましたが、なかなか機会がなかったのが今回の韓国交流研修で初めて海外に行く良い機会がもらえて本当に嬉しかったです。

韓国語にはまったくと言っていいほどなじみがなく、「こんにちは」や「ありがとう」くらいという言葉しか知りませんでした。実際に韓国に行って本場の言葉に触れることで思っていた以上にたくさんの韓国語を学ぶことができました。

初日は移動だけで1日かかり疲れもありましたが、日本を出たことと日本以外の土地に初めて降り立ったことの喜びでいっぱいでした。自分のまわりに飛び交う慣れない韓国語に戸惑いながら期待に胸を膨らませていました。

二日目からは慶尚大学の方々に大学を案内してもらい、韓国語の講義を受け、たくさんの観光地や博物館に連れて行ってもらう韓国の歴史や文化を知りました。歴史的な韓国と日本との関わりについてたくさんの資料や出土品から学び、韓国の伝統的な料理を食べることで食文化の違いも学びました。日本と韓国は距離も近く、同じアジア圏であるにも関わらず文化は全く違うことを改めて感じました。

また慶尚大学の学生の人たちも私たちのためにいろんな場所へ連れて行ってくれました。おいしいビビンバのお店やかわいい雑貨屋さん、学生がよく行く服屋さん。学校案内が終わってからも夜の韓国を毎日満喫できました。そのなかで韓国語を覚え、少しでも韓国語で韓国の学生とコミュニケーションをとれるよう頑張りました。楽しみながら韓国語を学び歴史や文化を学ぶことができたと思います。

山を歩いたり船で川を渡ったり韓国の自然をアジワウすることも出来る機会ももらえてとても貴重な時間を過ごしました。また、釜山に行った日は、商店街に行き長い時間楽しい時間を過ごし、そのあとも、有名なビーチに連れて行ってもらうきれいな夜景をみんなで釜山を満喫しました。

毎日、驚きと感動、発見がある1週間でした。

正直、日本を出る前は海外という未知の世界に怖さも感じていました。しかし、一歩外に出れば自分を刺激してくれる新しい景色が広がっていることを知りました。

韓国交流研修を終えてもっともっと海外にいったたくさんの新しい経験をしてみたいと思うようになりました。

私以外はみんな4年生だったので最初は不安もありましたが、向こうの学生の人たちとも先輩ともすぐに仲良くなれて1週間ものすごく楽しめました。1週間という短い時間でしたがこの韓国交流研修に参加できて本当によかったです。

韓国短期交流研修を終え

マテリアル工学科4年 角地 優子

9月10日～17日の8日間という短い期間でしたが、韓国の慶尚大学での短期交流研修に参加できたことは、私にとって視野を広げられる、とてもよい機会になったと思います。

釜山から1時間～1時間半という場所にあり、夜景は日本に近い様に見えますが、建物は高層マンションのようなものが多く見られました。他の学生に言われて気付いたのですが、韓国は左ハンドルであるため、バスの乗車口や車線も右側にありました。韓国ドラマをよく見ていたせいか、あまり違和感はありませんでした。

大学では、韓国語や韓国のお茶について学ぶことができました。また、薬草のフェスティバルや博物館、復元したお城、飛鳥時代に存在した百済に関する場所、港、釜山など多くの場所に行くことができました。小中学生の時に歴史で、ほんの少ししか出てきた、百済という韓国の昔の国の1つですが、大学生になって、再び触れる機会があるとは、思いませんでした。日本と韓国の文化のつながりを感じました。

韓国で困ったことは、言語です。2月22日～3月22日の約1か月、台湾に語学研修に行った際は、中国語はわからなくても、漢字にとっても助けられました。韓国では、看板や商品名など多くのものがハングルで表記されているため、記号にしか見えず、何かわからないものが多々ありました。唯一わかった看板は、富士フィルムの昔ながらの看板でした。

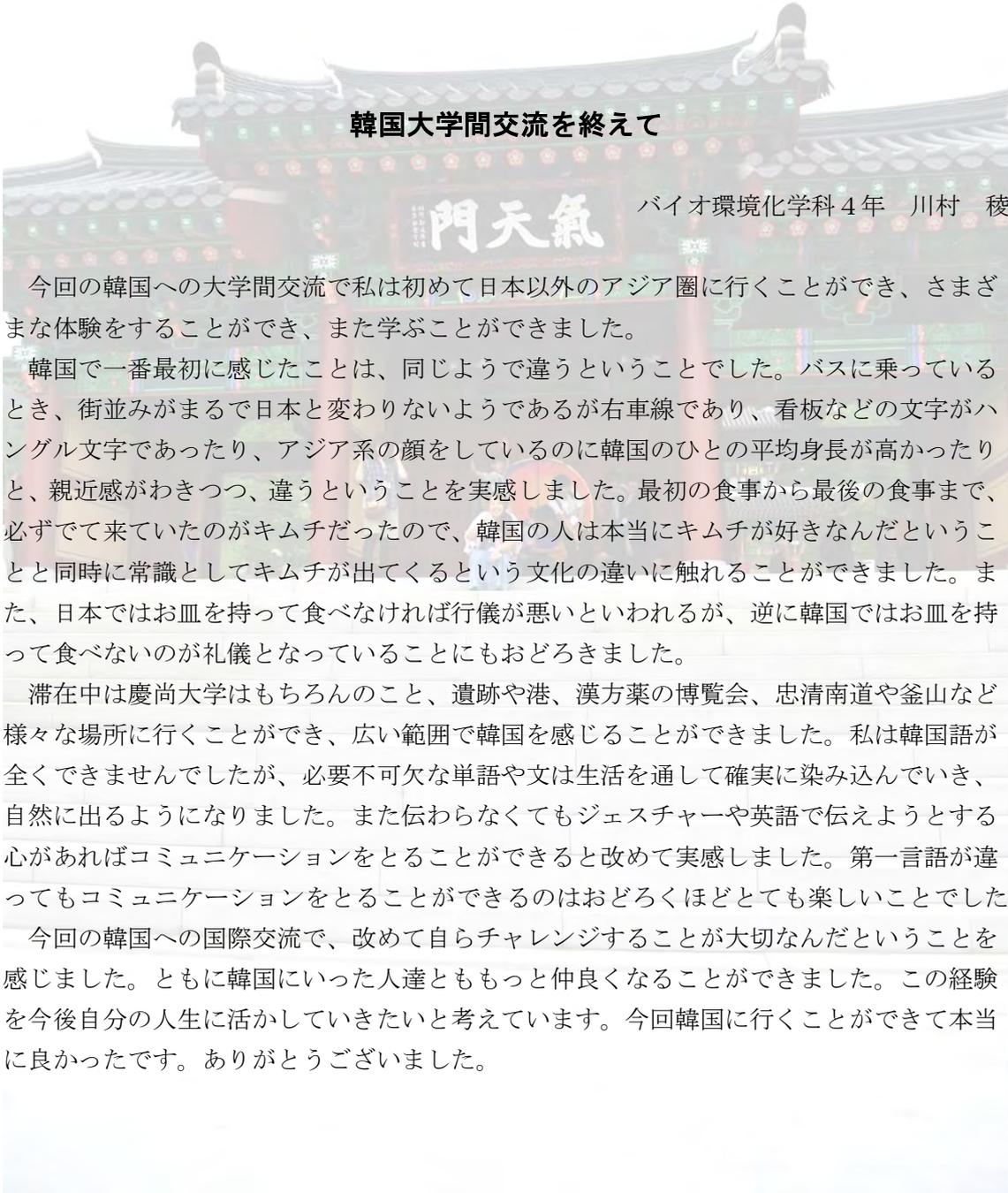
たくさんの食べ物を食べました。韓国の代表的な食べ物と言えば、ビビンバやキムチ、サムギョプサル、プルコギなどおいしいものが多くあります。キンパツという海苔巻や伝統的な料理、参鶏湯、釜山地方にしかない冷麺、かき氷といったものも食べることができました。キムチや漬物のようなものは、ほぼ毎食出ました。私は、辛いものがあまり得意ではなく、韓国のキムチはとても辛いと思っていたので、食べるのに抵抗がありました。しかし、食べてみると、思っていたよりも辛くはなく、おいしく感じました。

授業の合間を縫って、私たちに付き添ってくれた慶尚大学の3人の学生と、楽しく過ごすことができました。3人とも日本語も上手で、驚きました。会話は、韓国語でもなく、英語でもなく、日本語でほとんど会話していました。韓国では、高校の時に第2外国語を少し学ぶそうで、女子学生は数ある中から日本語を選択したそうです。1人の男子学生は、昨年本学に短期交流に来ていたそうで、もう1人の学生は数年前に大阪大学に1年留学していたそうです。私も見習って、母国語である日本語以外の言語をしゃべれるようにならないといけないなと感じました。

今回の短期交流研修で、もっといろいろな国に触れてみたいと思いました。留学してみたいとも思いました。日本もいい国だとは思いますが、でも、もうそれだけでは、足りないように思います。グローバル化がかなり進んでいる現在、他の国の文化や様子を触れることによって、その国の人と親しくなれると思います。帰国翌日に京都に行った帰りの電車で、韓国の女性の方とお話することができました。話しかけるまでに時間はかかりまし

たが、今回韓国に行ったことによって、話しかけることができました。韓国に行ったことにより、とても親しみを感じるようになりました。

また、韓国に行きたいと思います。8日間は、やっぱり短いです。もっともっと、韓国を知りたかったです。とても、楽しく過ごせた8日間でした。



韓国大学間交流を終えて

バイオ環境化学科4年 川村 稜

今回の韓国への大学間交流で私は初めて日本以外のアジア圏に行くことができ、さまざまな体験をすることができ、また学ぶことができました。

韓国で一番最初に感じたことは、同じようで違うということでした。バスに乗っているとき、街並みがまるで日本と変わらないようであるが右車線であり、看板などの文字がハングル文字であったり、アジア系の顔をしているのに韓国のひとの平均身長が高かったりと、親近感がわきつつ、違うということを実感しました。最初の食事から最後の食事まで、必ずでて来ていたのがキムチだったので、韓国の人は本当にキムチが好きなんだということと同時に常識としてキムチが出てくるとい文化の違いに触れることができました。また、日本ではお皿を持って食べなければ行儀が悪いといわれるが、逆に韓国ではお皿を持って食べないのが礼儀となっていることにもおどろきました。

滞在中は慶尚大学はもちろんのこと、遺跡や港、漢方薬の博覧会、忠清南道や釜山など様々な場所に行くことができ、広い範囲で韓国を感じることができました。私は韓国語が全くできませんでしたが、必要不可欠な単語や文は生活を通して確実に染み込んでいき、自然に出るようになりました。また伝わらなくてもジェスチャーや英語で伝えようとする心があればコミュニケーションをとることができるのと改めて実感しました。第一言語が違ってもコミュニケーションをとることができるのはおどろくほどとても楽しいことでした。

今回の韓国への国際交流で、改めて自らチャレンジすることが大切なんだということを感じました。ともに韓国にいった人達とももっと仲良くなることができました。この経験を今後自分の人生に活かしていきたいと考えています。今回韓国に行くことができ本当に良かったです。ありがとうございました。

韓国短期交流研修

マテリアル工学科4年 菊地 秀一

今回、一週間という短い韓国短期交流研修でしたが、自分にとっては、もちろん楽しいものであったが、それ以上に良い意味で自分の生涯の中で深く刻まれ、これからの人生の分岐点となる、そんな研修であった。

自分は、今までに海外に行った経験は無かった。興味は大いにあったけれど、時間面、金銭面でどうしても出なかったのと、国外という不安が自分にストップをかける原因だった。それを、見事にクリアした条件の今回の研修に自分は期待をせずにはいられなかったが、最近ニュースで見る反日運動の事を考えると、不安になるのは仕方なかった。

だが、飛行機が着き空港を出てみれば、韓国語が飛び交い、ハングルだらけの街に不安は吹き飛んだ。外国に来た、という実感を感じる事で、自分は期待に胸を踊らせた。

一週間、自分たちのお世話をしてくれる韓国の学生たちは、とても素敵な方々でした。三人とも日本語がとても流暢で、日常会話で困る事は、まず無かった。また、とても気さくで優しく、朝から夜遅くまで自分達と一緒にいて通訳をしてくれたり、案内をしてくれたりと精力的に働いてくれていました。また、勉強の話を知ると、TOEIC900点、日本語検定1級などかなりのレベルの差を感じました。

そして、いざ向こうの大学を見学させていただくと、大学の規模の大きさ、行っている研究の高さ、研究に熱心な生徒の意識、勉学レベルの高さ、全ての違いにショックを受けた。というのは、同じ大学生として大学間でこんなにも大きな差が開いているとは思いませんでしたからである。

また、大学外では毎日日本でも知られているような韓国料理をごちそうになり、伝統的な歴史あるものに日々触れる事が出来た。日本の伝統的な歴史あるものとはまた違った雰囲気というものをを感じる事がまた、新しい刺激を受けた。

あっという間の一週間で韓国が名残惜しくも感じ、もっと韓国に触れていたいと本気で思いました。その気持ちも強くありましたが、日本に帰って韓国で感じた大きな差を埋めたい、埋めてやろうという気持ちが強く根付いていた。自分は、これから前以上の勉学への意欲を持ちより一層勉強に精進していこうと心に強く決める事が出来た自分にとって分岐点となった研修でした。

韓国短期交流研修

バイオ環境化学科4年 渡部 大気

私は今回、短期交流研修に参加し、韓国へ行きました。韓国語は今まで一度も学んだことがなかったので、少し心配でしたが日本語を話すことができる韓国の学生が迎え入れてくれたので、すんなり現地になじむことができました。韓国のことは全く知らなかったが、講義は韓国の文化や言葉がメインのものであり新鮮だった。特に文化について学ぶと、日本に共通する部分（茶道など）もあれば、全く違う部分（食器を持たないなど）があり、同じアジア圏の国だがまだまだ知らないことがたくさんあるのだと思いました。

講義だけでなく博物館、薬草のお祭り、宮殿や古墳など、外に出て韓国の歴史や文化に触れる機会もありました。建物や展示物を見ながら歴史や文化を学ぶことで、座学の講義では知ることのできない実際の空気や雰囲気を感じることができました。

自由行動の日には釜山に行きました。釜山は宿泊先のホテル近辺と比べ物にならない程都会で、それぞれ好きなように観光や買い物をすることができました。また、釜山からバスや電車を使い少し離れたビーチに行くことができました。夜はすごく夜景がきれいでカップルがたくさんいました。釜山ではなれない韓国語や英語を使い苦労したが、とても楽しい思い出となりました。

この短期交流研修は現地の学生との思い出はもちろんですが、より異なった文化に触れたいと思う気持ちも芽生え、またこのような機会があればぜひ参加したいと思いました。

短期交流研修報告書

研究協力課係長（国際交流担当）

白鳥 善裕

今回、短期交流研修団を引率し、充実した毎日を過ごさせてもらった。学生たちは非常に元気で、陽気で、社交的であったので、お互いにとって毎日楽しく過ごせたのではなかったかと思う。日本人が外国人と外国語で話す上で「対人恐怖症」が障害となるが、彼らにはそれがあまり感じられなかった。あまり上手とは言えない英語だったかもしれないが、韓国人学生等とスムーズに会話を始めていたので彼らの隠れた才能に引率する身として少し安心した。

慶尚大学校を訪問して一番驚いたことは、学生の英語力の高さだった。

研修初日、私達は工学部の実習工場を見学した。各実験室では大学院生が研究内容や研究設備について説明してくれたのだが、あまりにも専門的な内容のため、日本語通訳として同行してくれていた韓国人学生は十分に通訳することができず、突然、彼らに英語での説明を依頼した。すると、どの研究室の大学院生も臆することなく英語で十分に説明してくれた。

また、日本語通訳してくれた韓国人学生達も日本語能力だけでなく英語力も高かった。英語圏での滞在経験を聞くと、カナダやオーストラリアに交換留学やワーキングホリデーで1年間程度滞在し、英語力を磨いていた。英語だけでなく日本語も身に付けようとする彼らの意欲には頭が下がる。彼らに英語と就職との関係について話を聞いていると、現在の韓国では TOEIC テストのスコアだけでなく、TOEIC スピーキング・ライティングテストのスコアを提出しなければならないらしい。

日本語通訳をしてくれた韓国人学生は3名とも非常に優秀で、親切で、温厚な人柄だった。3名中2名は日本への留学経験もなく流暢な日本語で対応してくれ、学生達を観光客が行かないような地元の人しか行かないようなお店に連れて行ってしてくれた。そこでどんなことを話してどんなことを感じたのかは私にはわからないが、お互いのことを理解し、人間的な距離が近づいたのではないかと思う。

日本と韓国は政治的に常に対立しているが、日本人と韓国人は時間をかけて付き合えば、お互いのことを理解し合えること、仲良く過ごせることを、今回の研修で学生達は強く感じてくれたと思う。

私は、2003年に韓国留学から帰国し、「日本海（東海）の架け橋になろう」と心に決めた。今回、日本と韓国と若者の交流の場を提供できたという意味で、橋の土台のボルトぐらいの国際貢献はできたのではないだろうか。



開講式



工場見学①



工場見学②



工場見学③



研究室訪問



講義「韓国の文化」



歓迎会



講義「韓国語」



山清世界伝統医薬 EXPO



国立扶余国立博物館



百濟文化団地



白馬江



落花岩



伝統的家屋



武寧王陵



昼食



釜山①



釜山②



釜山③



釜山④



講義「茶道」①



講義「茶道」②



歡迎幕



閉講式



金学部長



誕生日プレゼント



送別会①



送別会②



記念写真

慶尚大学校工科大学校との短期交流研修日程表

平成25年9月10日～17日

平成25年9月10日現在

日程	時間	スケジュール	先方対応者	備考
9/10 (火)	9:30	新千歳空港国際線ターミナル3F集合		
	12:35	新千歳空港出発 (KE772)		
	15:15	金海国際空港着	副学部長、李室長、李係長、通訳	
	17:00	晋州到着		先方手配バスで移動
			【聖水荘(ソンスジャン)旅館泊】	
9/11 (水)	9:30	研修開講式	学部長、副学部長、李室長、李係長、通訳	セミナールーム (401-211)
	10:00	研究室ツアー (工場等)	李係長、通訳	
	12:00	昼食 (学食)		
	13:30	慶尚大学校紹介&キャンパスツアー (図書館、博物館等)	李係長、通訳	セミナールーム (401-211)
	15:30	講義Ⅰ 韓国文化紹介	金教授、通訳	セミナールーム (401-211)
	18:00	歓迎会	学部長、副学部長、李室長、李係長	
			【聖水荘(ソンスジャン)旅館泊】	
9/12 (木)	9:30	講義Ⅱ 韓国語基礎	梁先生	
	12:00	昼食 (学食)		
	13:00	山清世界伝統医薬EXPO見学	李室長、林係長、通訳	スクールバスで移動
	18:00	夕食		
			【聖水荘(ソンスジャン)旅館泊】	
9/13 (金)	8:30	晋州出発	副学部長、李室長、林係長、通訳	貸切バスで移動
		扶余 (百済時代の都) 観光へ出発		
		扶余国立博物館		
		百済文化団地		
		扶蘇山城址		
			【公州泊】	
9/14 (土)	8:00	公州観光		貸切バスで移動
	12:00	晋州へ出発		
	14:00	昼食、昼食後自由時間		
			【聖水荘(ソンスジャン)旅館泊】	
9/15 (日)		終日フリータイム		
			【聖水荘(ソンスジャン)旅館泊】	
9/16 (月)	9:00	三千浦見学	副学部長、李室長、林係長、通訳	
	12:00	昼食		
	13:30	講義Ⅲ 茶道	学部長、副学部長、李室長、林係長、通訳	セミナールーム (401-211)
	17:00	研修閉講式		
	18:00	懇親会		
			【聖水荘(ソンスジャン)旅館泊】	
9/17 (火)	6:00	晋州出発	副学部長、李室長、林係長、通訳	先方手配バスで移動
	7:15	金海国際空港到着		
	9:15	金海国際空港出発 (KE771)		
	11:35	新千歳空港到着・解散		

※教職員は、東邦ホテル (晋州) に宿泊



北見工業大学 国際交流センター
〒090-8507 北見市公園町 165 番地
Tel : (0157)26-9370 Fax : (0157)26-9373
Email : kenkyu05@desk.kitami-it.ac.jp